学校番号	１０１３

平成３１年度　家庭科

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	２単位	年次	２年
使用教科書	「子どもの発達と保育」　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

子どもに興味・関心を持ち、積極的に取り組みましょう。
・乳児の発達の特徴、子どもの生活や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身につけます。
・子どもを生み育てることの意義や親子関係の大切さを認識し、自分をみつめ、命を尊び、よりよい生活をめざします。
・乳幼児との触れ合いや交流を通して学習します。

２　学習の到達目標

乳幼児の発達の特徴や発達過程、保育、福祉などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	乳幼児の発達の特徴や保育、福祉などに関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	乳幼児の発達の特徴や保育、福祉などの課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	乳幼児の発達や保育、福祉などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	乳幼児の発達の特徴や保育などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習の状況や観察 プリントの記述 実習記録 レポート 発表 自己評価　等	学習の状況や観察 プリントの記述 レポート 定期考査の結果 自己評価　　等	学習の状況や観察 プリントの記述 作品　交流記録 レポート 定期考査の結果 自己評価　　等	学習状況の観察 プリントの記述 レポート 定期考査の結果　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	1章子どもの発達の特性	人間の発達のなかの乳幼児期 ・発達観の変遷 ・児童観の変遷 乳幼児期の発達の特徴 ・乳幼児期の精神発達 ・対人関係の発達 ・心の健康と精神保健 保育体験実習（夏期休業中に希望者のみ）	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	a:子どものさまざまな発達について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どものさまざまな発達について、課題を見出し、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもと適切に関わることができたり、子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている d:子どもの発達と保育について理解し、果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 プリント 定期考査 自己評価 実習レポート
2学期	2章子どもの発達過程 3章子どもの生活	子どもの養護 子どもの食生活と衣生活 ・子どもの食事の調理実習 ・子どもの衣服の製作 子どもの遊び ・児童文化財の製作 生活習慣としつけ ・子どもの健康管理 ・子どもの事故と安全 ・子どもの生活と環境	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	a:子どもの生活について、関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの生活について、実習や製作を通し、課題を見出し、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもの生活について、こどもの健やかな発達を支える技術を実習や製作を通し身に付けている d:子どもの生活について、実習や製作を中心とした学習を通して理解し、子どもの生活について必要な知識を身に付けている。	授業観察 プリント 実習計画 製作物 レポート 自己評価 定期考査
3学期	4章子どもの保育・	保育の意義 ・家庭保育と集団保育 子どもの福祉とは ・子どもの福祉と法律・制度 ・これからの子どもの福祉	○ ○	 ○	 ○	○ ○	a:子どもの保育、福祉について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの保育、福祉について、家族や地域の生活を見つめて課題を見出し、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもの保育、福祉について	授業観察 プリント 定期考査

	子どもの福祉	子どものおもちゃづくり （型はめパズル） 子どものおやつづくり （調理実習）					子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d:子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解